



当社 油化装置

- 本社所在地：
広島県福山市引野町5丁目11番4号
- 事業概要：
プラスチック原料製造販売
廃プラスチック油化事業
- 常時使用する従業員：57名（グループ全体・
2025年5月期）
- 現在の売上高：17億円（グループ全体・
2024年9月期）
- 法人番号：6240001034983
- Web：<https://www.cfp-eco.com/>

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
福田 奈美絵

Challenge to the Future Possibility

～未来の可能性に挑戦～

ステークホルダーと共にカーボンニュートラルな明日をつくる

CFPgroupは、社名の由来である“未来の可能性へ挑戦”を理念に、「ステークホルダーと共にカーボンニュートラルな明日をつくる」というパーパスを策定し、リサイクルを通して持続可能な社会の構築に取り組んでいます。すべてのステークホルダーの繋がりを大切に、培ってきたリサイクルの知識や経験をもとに挑戦と進化を続けてまいります。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2033年のグループ売上100億円達成に向け、新たな油化装置の設置および新規工場の増設により、年率25%程度の成長を目指す。そのために、現在困難とされているPET混の廃プラスチックをリサイクルできる装置を導入。廃プラスチック生成油の需要拡大に対応すべく、安定した供給体制の構築と新規工場の開設により、さらなる成長を目指す。

課題

- ・リサイクル可能な廃プラスチックの種類拡大
- ・増設した油化装置の安定的な稼働
- ・新規工場の人員確保および運転技術の蓄積
- ・リサイクル品の使用が求められる各業界との連携強化

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・リサイクルが難しい「PET混の廃プラスチック」を処理可能な油化装置の導入
- ・既存工場の設備増設
- ・新規工場の開設（既存工場の3倍規模を予定）
- ・油化装置の販売（輸出を想定）
- ・世界的なリサイクル需要の高まりを受け、販路を拡大

実施体制

- ・新設備増設の設計
⇒増設により取り扱えるリサイクル材料が増加
- ・既存工場の稼働時間増加のため人員を新規雇用（25年内目標）
- ・新規工場の開設予定地の検討（九州を予定）
- ・ブランドオーナーや石油精製、石油化学会社との連携強化
⇒安定した販売先の確保・プレスリリースによる知名度確保

売上高100億円実現目標とグループ体制

株式会社CFPは、廃棄物として処理されていた廃プラスチックをリサイクル材料として有価買取し、有効活用することで事業性を確保しながら資源循環に貢献しています。従来取り組んでいるマテリアルリサイクルに加え、マテリアルリサイクルできない廃プラスチックを油化できるケミカルリサイクルを進め、自社工場での生成油製造・販売及び油化装置の販売に取り組んでいます。現在はケミカルとマテリアルのどちらにも対応できる「ハイブリッドリサイクル」の仕組みを構築するに至りました。

株式会社リサイクルエナジーは、廃プラスチックの加工（再資源化）・荷役を担っています。また、油化装置の研究・開発の運営を行っています。

CFP Trading Singapore Pte. Ltdはグループの海外ハブとして、世界のプラスチック情勢の情報収集、3か国貿易、廃プラスチック油化装置の海外展開を行っています。

グループ全体で、国内外の幅広いネットワークと専門知識を生かし、世界的に注目されている廃プラスチックリサイクル事業に取り組んでまいります。

